

取扱説明書

DAYTONA corp.

R91047 ①/⑤

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

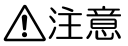
 ETCケース/BE51JRM-11用 〈ブラック/ナチュラル〉	適応車種	商品NO.
	スポーツスター(’04~’13) ※(’03)(’14~)不可	ブラック 91047 ナチュラル 91048

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 高温注意	表記の注意を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

警告

 実施	- この説明書は、本品の取り付けのみを記載しております。車載器及びアンテナ、インジケータの取り付けに関しましては車載器の説明書に従って取り付けをしてください。 - ETCの取り付けには専門知識が必要です。個人での取り付けは絶対に行わず、必ずETC セットアップ店にて行ってください。異常が発生した場合は、取り付けした ETC セットアップ店へご相談ください。 - 作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。 - 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ異常箇所を点検してください。 - 車載器が脱落した場合、ハーネスがタイヤに絡んだり、ハンドル操作が不能にならないようにハーネス部分を結束バンドやハーネスクランプ等で車体側に確実に固定してください。また、危険が想定される部分への取り付けはしないでください。
---	--

注意

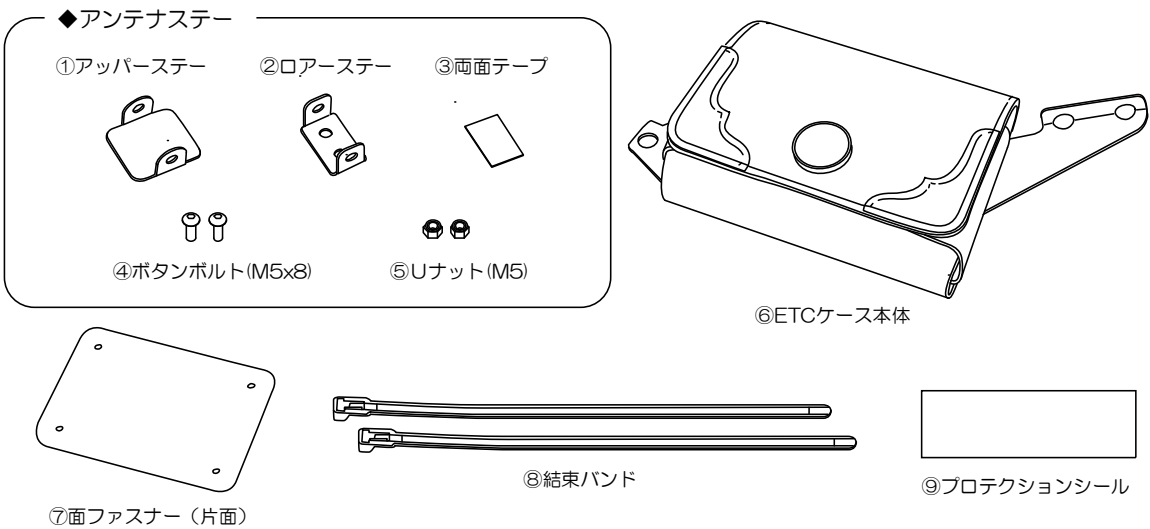
 実施	- 取り付けは確実に行ってください。 - 取り付け後は定期的に各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。 - 走行前に ETC 車載器及びネジ類が確実に取り付けられているか確認してください。特にアンテナは角度、向き等が指定された基準値内になっているか確認してください。 - 車載器のアンテナが進行方向へ向くようにし、角度が水平より $20 \pm 10^\circ$ になるように取り付けてください。 - ETC 車載器本体には防水性はありますが、本製品には防水性はありません。予めご了承ください。 - 取り付け作業の際は、各取り付け部付近及び作業者本人の手の汚れを綺麗に落としてから作業を行ってください。汚れたまま作業しますと製品自体に汚れ、シミ、キズが付く恐れがあります。 - 本製品は本革を使用しております。レザーオイル、レザークリーナー等で定期的なケアが必要です。 ※当社では革用ケミカル類は取り扱っておりませんので市販のものをご使用ください。
---	---

 高温注意	作業はエンジンが十分冷えてから行ってください。エンジンやマフラーに触れて火傷をする可能性があります。
 その他	- 警告、注意など本紙に記載の事項を無視して発生したいかなる不具合に対しても株式会社デイトナは一切の責任を負いません。 - 本商品による車両への傷、汚れ等についてのクレームは受け付けておりません。予めご了承ください。 - 組付けは取り付け手順に従ってください。 - 組付け作業が終わるまでエンジン始動、走行は行わないでください。 - ご不明な点がございましたら商品ご購入店または、「フリーダイヤルお客様相談窓口」までお問い合わせください。 - ETC ケースのホックが確実にロックされていることを確認して走行するようにしてください。 - 車両を離れる際は、ETC カードを ETC 車載器の中へ入れないようにしてください。 - この商品を取り付けた場合、ETC 車載器の盗難抑止効果に大きく影響するものではありません。ETC 車載器の盗難等に関する保障は一切できませんのでご了承ください。

本商品の特徴

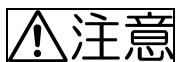
- BE51、JRM-11 に対応した本革製 ETC ケース。
- 車種専用設計でアンテナステーも付属。

商品内容



NO	パーツ名	サイズ	数量	NO	パーツ名	サイズ	数量
①	アッパーステー		1	⑥	ETC ケース本体		1
②	ロアーステー		1	⑦	面ファスナー（片面）		1
③	両面テープ		1	⑧	結束バンド		2
④	ボタンボルト	M5x8	2	⑨	プロテクションシール		1
⑤	U ナット	M5	2				

取付方法

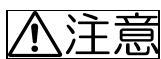
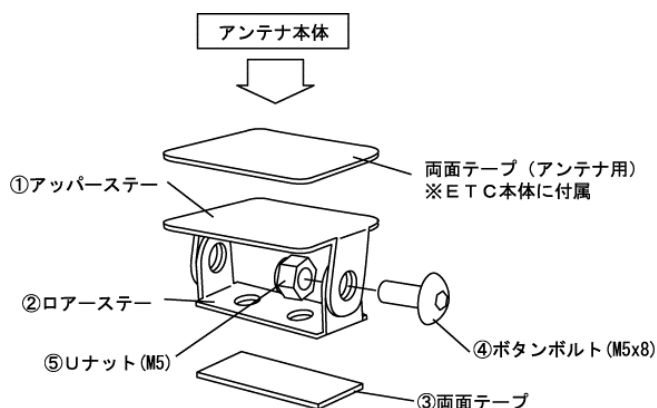


注意

ETC 車載器本体の配線、アンテナ及びインジケータの配線は長さを調節することができません。本製品は ETC 車載器本体の配線、アンテナ及びインジケータの余分な配線を、出来るだけシート下のスペースで処理するように設計しております。

〈アンテナ、インジケータの取り付け〉

- ①～⑤のアンテナステーを右図のように組立てます。
- 1.で組立てたアンテナステーに、ETC 車載器本体に付属の両面テープ（アンテナ用）でアンテナを貼り付けます。
- アンテナ位置、角度を決定して車両に貼り付けます。
- アンテナの配線をシート下まで引き込んでください。
- ETC 車載器本体に付属の両面テープ（インジケータ用）をインジケータへ貼り付け、乗車位置から見やすい位置にインジケータを配置します。
- インジケータの配線もシート下まで引き込んでください。

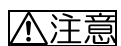


注意

※アンテナ、インジケータの取り付け位置等に関しましては車載器の説明書に従って取り付けをしてください。特にアンテナは角度、向き等が指定された基準値内になっているか確認してください。

〈ETC 車載器本体の取付〉◆BE51 の場合◆

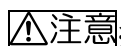
- ETC 車載器本体に付属の面ファスナーを（片面）を ETC 車載器本体の裏側へ貼り付けます。



注意

※⑦面ファスナーは使用しません。

- ⑥ETC ケース本体を開き、ケース側面にある配線用のスリット部（長穴）から ETC の配線を通します。

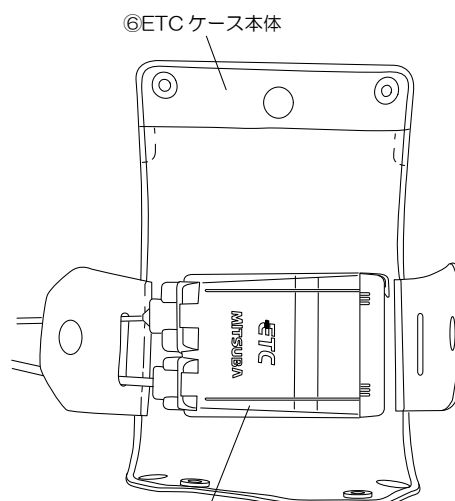


注意

※スリット（長穴）は装着後に出来るだけ目立たないように最小限の大きさに開けてあります。コネクターを通す際、多少きつめになっていますのでコネクター及び配線を破損しないようにご注意ください。

- ETC 車載器本体を⑥ETC ケース本体の中に入れ、面ファスナー貼り合わせ固定します。

＜BE51 の場合＞



別売 ETC 本体 (BE51)
裏面に ETC 車載器本体に付属の面ファスナーを貼り付け。
※⑦面ファスナーは使用しません

〈ETC 車載器本体の取付〉◆JRM-11 の場合◆

- ⑦面ファスナー（片面）を ETC 車載器本体の裏側へ貼り付けます。

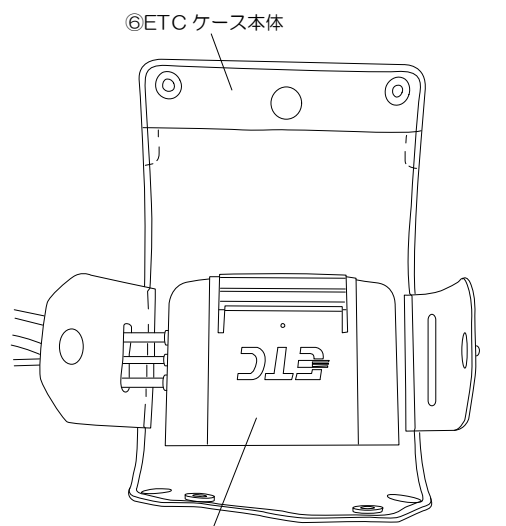
△注意 ※ETC 車載器本体に付属の両面テープ（ETC 車載器本体用）は使用しません。

- ⑥ ETC ケース本体を開き、ケース側面にある配線用のスリット部（長穴）から ETC の配線を通します。

△注意 ※スリット（長穴）は装着後に出来るだけ目立たないように最小限の大きさを開けてあります。コネクターを通す際、多少きつめになっていきますのでコネクター及び配線を破損しないようにご注意ください。

- ETC 車載器本体を⑥ ETC ケース本体の中に入れ、⑦面ファスナー貼り合わせ固定します。

＜JRM-11 の場合＞

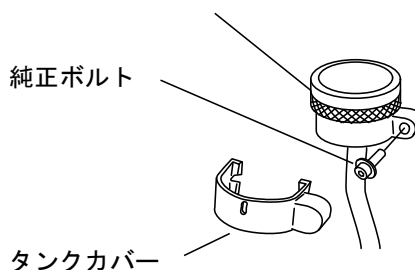


別売 ETC 本体（JRM-11）
裏面に⑦面ファスナーを貼り付け。
※ETC 車載器本体に付属の両面テープは使用しません

〈⑥ ETC ケースの取付〉

- 車両からシート及び左側サイドカバーを取り外します。
- リアマスターシリンダーリザーバタンクのタンクカバーを取り外し、タンクを固定している純正ボルトを取り外します。

リアマスターシリンダー
リザーバタンク

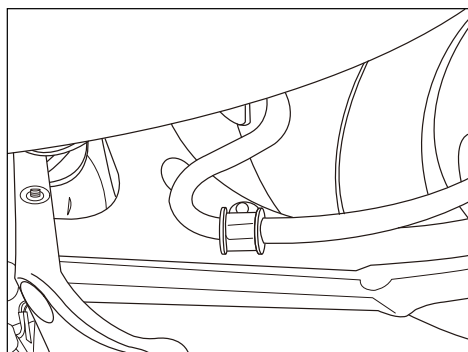


- ⑥ ETC ケース本体のステー左側の穴をリザーバタンクの取り付け部分に仮止めし、ステーを下方方向に回転させ（リヤショックのボトム時を想定）ブレーキホースに接触しない事を確認してください。接触する場合は、下図を参考に、ホースクランプの向きを調整してください。

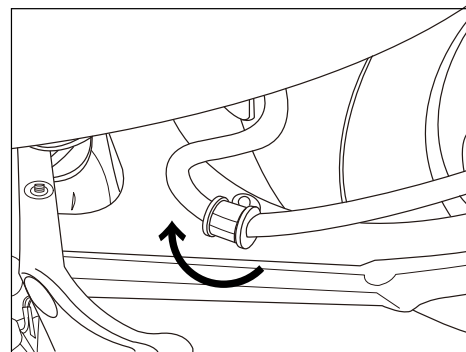
△警告

※ブレーキホースとステーが接触する状態で装着しますと、ブレーキホースが損傷し、最悪の場合リアブレーキが効かなくなるなど事故につながる恐れがありますので必ず確認してください。

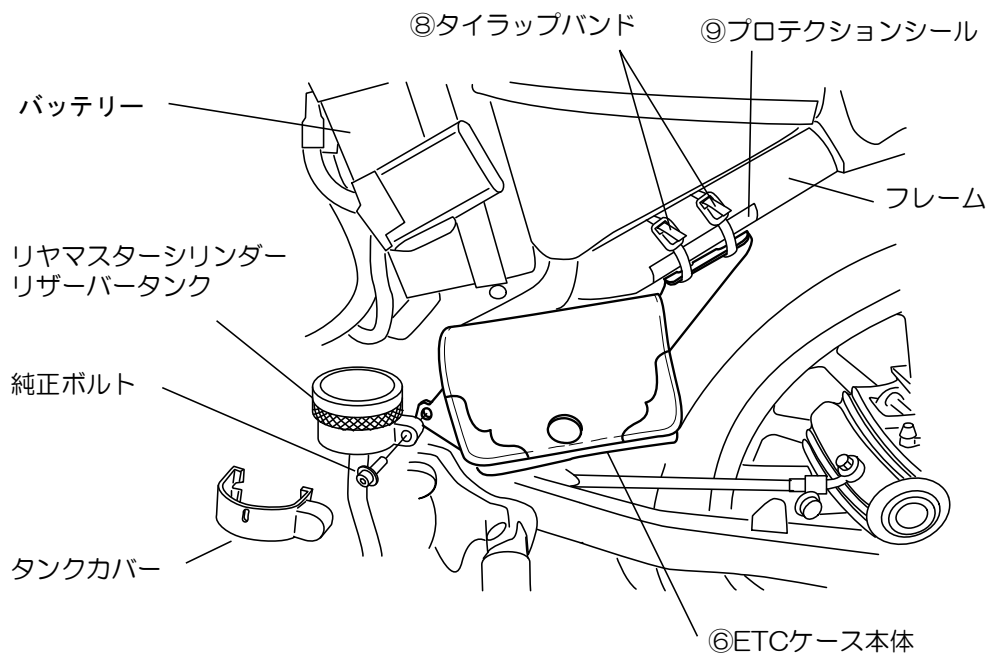
※この時、ブレーキホースがつっぱり過ぎない様、クランプを緩めてホースとクランプの位置もあわせて調整してください。



右図のように、ブレーキホース
クランプの固定角度をステーが
接触しないよう調整してくだ
さい。



4. 今度は仮止めしたステー右側をフレームに当てます。この時、ステーがフレームに当たる部分へキズ防止の⑨プロテクションシールを貼り付けます。



5. ステー右側の2箇所の穴に⑧結束バンドを通しフレームに固定します。余分なバンド部分を適度な長さでカットしてください。

△注意

※この時、ステー右側は、右図の位置になるよう固定してください。

※この⑧結束バンドは脱着可能タイプです。短くカットしすぎると次の脱着時に作業がしにくくなります。

6. リザーバータンクの純正ボルトを本締めし、タンクカバーをはめ込みます。

7. バッテリー周辺で各配線を接続し、バッテリー周辺の隙間等に配線を納め左側サイドカバーを元のように取り付けます。

△注意

※配線は、左側サイドカバーの脱着時に支障のないように取り付けてください。

8. シートを車両へ取り付けし、作業は終了です。

△注意

※シートを取り付ける際、配線等を無理に挟み込まないようにご注意ください。

■後方から見た断面図（ステー位置）

